

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年12月17日

計画の名称	高槻市城跡地区暮らし・にぎわい再生事業（その2）												
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	高槻市												
計画の目標	<p>高槻市中心市街地は、近年、通行量が減少するなど都市のにぎわいにかげりが見られる。</p> <p>中心市街地のうち、阪急高槻駅以南のエリアについては、市の文化交流拠点である高槻現代劇場や、教育施設が集積する文教エリアであるとともに、中心市街地における貴重な緑の空間である高槻城公園（旧城跡公園）が存在するなど、本市の魅力となり得る高い潜在能力を秘めた場所である。このような中、新文化施設を整備し、区域における集客拠点を強化するとともに、駅周辺の回遊性を向上し、中心市街地の活性化を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,125	A	1,125	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R4末)
1	にぎわいのある駅周辺のまちづくりに向けた指標として、JR高槻駅及び阪急高槻駅周辺の歩行者数・自転車通行量を増加させる。 JR高槻駅及び阪急高槻駅周辺における歩行者・自転車の通行量の合計	72970人/日	人/日	77300人/日
2	区域における新たな集客拠点施設の拠点性の指標として、新文化施設の利用者数を増加させる。 新文化施設の年間利用者数	116784人/年	人/年	150000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
番号2：新文化施設の年間利用者数の当初現況値は現文化施設の年間利用者数（H26）	計画の期間（事業期間）は6か年の為、システム登録は2つに分かれる（その1 H29～R3 その2 R4～R4）											

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	高槻市	直接	高槻市	-	-	高槻市城跡地区暮らし・ にぎわい再生事業	計画区域 1.9ha	高槻市						1,125	1.504	-	
												小計						1,125		
											合計						1,125			